

○大山地区タウンミーティング会議録(概要)

日 時:平成 30 年 9 月 29 日(土)

午前 10 時から午前 11 時 15 分まで

場 所:大山地域市民センター

出席者:約 50 人

テーマ 1 健康寿命の延伸:福祉保健部

～住み慣れた地域でいつまでも～

<主な説明事項>

健康寿命の延伸を目指す

平均寿命と健康寿命の推移(全国)

年齢階級別被保険者数・要介護認定者数・認定率

高齢化率・要介護認定率・平均要介護度の推移

年齢階級別要介護認定率及び平均要介護度の推移(後期高齢者)

介護予防ふれあいサークル

楽楽いきいき運動

地域で取り組む水のみ運動

おでかけ定期券

孫とおでかけ

病気への早期対応

地域を基盤とする包括支援の強化

【福祉保健部の説明に対する質問】

なし

テーマ2 富山市の子育て支援策について:こども家庭部

<主な説明事項>

富山市の総人口と子ども人口の推移

出生数の推移

平成29年4月 こども家庭部の新設

こども家庭部の主な事業

子育て世代包括支援センター

富山市ベビーボックスプレゼント事業

各種健康診査

ママ手帳

特定不妊治療費助成事業・不育症治療費助成事業

産後ケア応援室

産後ケア応援室の利用料金

富山市の保育施設利用児童数の状況

未就学児の教育保育について(子育て新制度による保育事業)

私立保育所等への補助制度

特別保育:病児保育(病児・病後児対応型)

病児保育室(富山市まちなか総合ケアセンター)

特別保育:病児保育(お迎え型)

病児保育室利用のイメージ

保育料の負担軽減について

学童保育(児童)について

ファミリー・サポート・センター事業

こども医療費助成事業

ひとり親家庭の支援事業

多子世帯への支援

【こども家庭部の説明に対する質問】

なし

【その他意見交換】

・月岡校区の開発地域まで延伸することになる大山地域のコミュニティバスの紹介

・市町村合併による大山地域の振興策について

(企画管理部長)

市町村合併後、大山地域において、どのような振興策を行ってきたかのご質問ですが、携帯電話の不感地帯の解消、大山消防署小見分遣所を含む消防体制などの防災対策を行っております。その他につきましては、本日、担当部局は来ておりませんが、担当部局に伝えまして行政サービスセンターを通してご報告させていただきます。

(【地区センターを通して後日回答】(財務部 財政課 回答))

ご質問がありました地域の振興策として、大山地域におきましては、地域コミュニティの拠点として、大庄コミュニティセンターと小見コミュニティセンターを建設しております。

また、安心、安全で持続性のある魅力的な地域となりますよう、

- ・ 常備消防拠点がなかった小見地区に大山消防署小見分遣所を建設し、救急時の現場到着時間の短縮を図っております。
- ・ 大山、亀谷、福沢地域における携帯電話の不感地帯に市が通信回線を敷設し、携帯電話の不感地帯を解消しております。
- ・ 立地適正化計画で誘導施設として位置付けた施設(大山地域においてはスーパーマーケットとドラッグストア)の出店を誘導するため、民間事業者が出店する際の補助制度を創設しております。
- ・ 生活の足を確保するため、大山コミュニティバスに、平成 30 年 10 月 1 日から「大庄循環線」を追加しております。

また、子どもたちの安全を確保し学習環境を向上させるため、上滝小学校の大規模改造事業を継続しております。

また、人が集い活気にあふれた地域となりますよう、

- ・ 立山山麓地域でのスキー場やトレッキングコースを整備しております。
- ・ 街かどサロン「よってかれ家」の運営を支援しております。
- ・ 環境負荷の小さい低炭素社会のモデル事業として、東町・東新町公民館小水力発電所、常西公園小水力発電所を整備しております。
- ・ 高齢者ふれあい入浴事業において、これまで白樺ハイツでしか使用できなかった入浴券を、利用者の選択により、大沢野・大山・細入地域においても使用できるとし、大沢野・細入地域の方が大山地域に訪れる機会が増え、交流の促進に繋がっております。

このほか、中心市街地で整備しました、まちなか総合ケアセンターにあります、まちなか診療所では、大山地域も含めた全市域で訪問診療を行う地域のかかりつけ医のサポートを行うなど、本市では、大山地域のみならず、全市域において振興策に取り組み、市民福祉の向上に努めております。

・常願寺川に架かる瓶岩橋については、いつから通行可能なのでしょうか

(企画管理部長)

瓶岩橋につきましては、泉市議会議員からも議会で質問をいただいております。本日、担当部局であります建設部は来ておりませんが、建設部に伝えまして、後日行政サービスセンターを通してご報告させていただきます。

(【地区センターを通して後日回答】(建設部 橋りょう保全対策課 回答))

本市では、加速する橋梁の老朽化に対し十分な人員や財源を確保することが困難な中においても、将来に適正な資産を継承するため、持続可能な橋梁の維持管理、更新の実現に向けて鋭意取り組んでいるところです。

瓶岩橋におきましては、近接目視による定期点検を行うとともに、橋桁や床版・橋台

等の補修・補強に取り組んできたところですが、橋台のひび割れ等の進展が止まらず、加えて支承(橋桁と橋台の間に設置する部材)が破損し、巨大な橋桁が傾いている状況となったことから、車両や歩行者等の通行において、安全性を確保することが困難であると判断し、このことを地元の皆様に説明し、ご理解を得た上で通行止めを実施したところです。

その後も、定期的な観察を続けていますが、現在も老朽化による劣化損傷が進展している状況を踏まえると、補修・補強による対応には限界があるものと考えております。平成30年度は、近接目視による定期点検の実施を予定しており、当該定期点検及びこれまで実施した詳細調査の結果、並びに本市の財政状況等を総合的に評価し、平成30年度において今後の方向性について判断いたします。

・上滝地域の道路整備について、2年ほど前に都市計画の見直しとの説明がありました
が、具体的にどのように整備するなどの説明がほとんどありません。都市計画、一般道
路整備も、地域の道路は利用しやすいように整備するのが行政の仕事だと思います
(企画管理部長)

道路整備も加えて都市計画の関係について、本日担当部局は来ておりませんが、担当部局に伝えまして行政サービスセンターを通して書面でご報告させていただきます。
【地区センターを通して後日回答】(活力都市創造部 都市計画課 回答)

本市の都市計画道路の見直しは、「富山県都市計画道路見直しの基本的指針」に基づき、①交通計画やまちづくりの観点からの道路計画の必要性や実現性、②代替道路の有無、③地域生活への影響、④地元の意向などについて総合的に検討し、継続や廃止などの見直し案として取りまとめを行い、地元住民との合意形成が図られた場合に、都市計画の手続きを進めることにしております。

大山地域におきましても、地元説明会やアンケートにより地元の意向を確認し、見直し案を取りまとめた後、地元への説明会を地区ごとに行い、合意形成が図られたことから、対象の8路線のうち、4路線は継続、4路線は廃止とし、平成29年度に都市計画の

手続きを完了したところです。

このうち、継続とした上滝駅前線におきましては、駅利用者の状況や駅周辺の土地利用の状況、道路の通行状況などを総合的に勘案し、整備時期を検討することにしております。

【地区センターを通して後日回答】(建設部 建設政策課 回答)

上滝地域における広域的な交通ネットワークを構築する幹線道路の整備におきましては、富山県において一般県道上滝山室線などの拡幅改良を進めており、富山市も事業の推進に協力していくこととしております。

また、身近な生活道路においては、舗装補修等を実施しており、今後も計画的な整備を行っていきたいと考えております。

※発言の一部を整理して掲載しています(広報課)